

ひまわり No.21

消防広報 平成27年(2015)10月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課

TEL: (0853) 21-2119(代)

e-mail:soumu@izumo119.or.jp



救急フェア2015

～あなたもHEROになる!～ を開催しました!

毎年9月9日は「救急の日」です。

救急の日は、救急業務と救急医療に対して国民の皆さんに理解と認識を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的に昭和57年に定められました。

今年のイベントは、ゆめタウン出雲で9月6日(日)に開催し、当日は一日救急隊長に「神話舞隊カミアリージャー」を任命しました。

カミアリージャーのステージや出雲市消防本部音楽隊の演奏、複数の医療機関が設置した体験ブースを通じて、来場された方へ救急業務に対する正しい理解と認識を深めていただくことができました。

出雲市消防本部では、次のとおり応急手当講習会を行っています。

各事業所、自治会、学校等あらゆる団体(10名以上)から受付をしています。

また、個人及び団体(10名未満)での受講をご希望の方は、毎月第3木曜日に出雲市消防本部にて普通救命講習を行っています。

詳しいことは、警防課救急救命センター(21-6923)へお問い合わせください。

応急手当講習会の内容

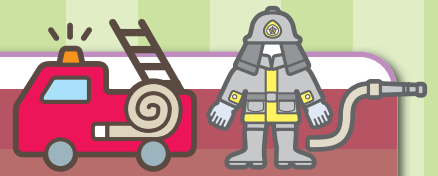
講習会の種類	受講期間	内 容
①救急講習(救急法)	1～2時間	心肺蘇生法/AED使用方法
②普通救命講習I・II(修了証交付)	I: 3時間 II: 4時間	I: 心肺蘇生法/AED使用方法 II: 止血法及び異物除去法
③上級救命講習(修了証交付)	8時間(1日講習)	②の救急講習の内容及びその他の応急手当
④応急手当普及員講習	24時間	応急手当の知識や技術を職場や地域で普及するための指導要領の講習

11/9月▶15日
秋の火災予防運動

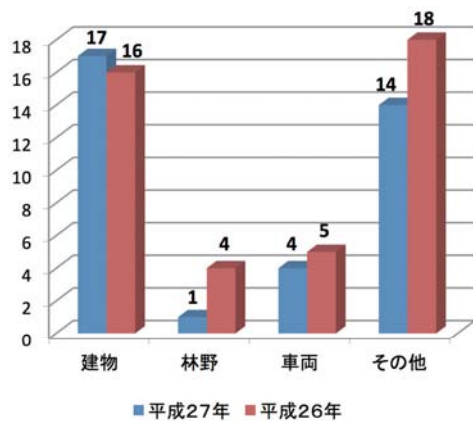
平成27年度 全国統一防火標語

無防備な心に火災がかくれんぼ

平成27年火災・救急統計 (1月～8月)



■火災件数36件(前年同期比7件減)

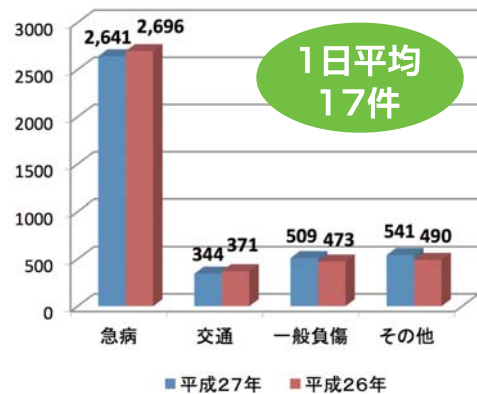


平成27年8月末までの火災件数は36件で、前年の43件に比べ7件の減少でした。

種別毎にみると、枯草などが燃えた「その他火災」、「林野火災」、「車両火災」は前年に比べ減少したものの、「建物火災」は前年より1件増となっています。

火災による死者は2名、負傷者は4名でした。

■救急件数4,035件(前年同期比5件増)



平成27年8月末までの救急件数は4,035件で、前年の4,030件に比べ5件の増加となりました。

種別毎にみると、「急病」が2,641件で全体の約65%を占め、次いでけがや骨折などの「一般負傷」が509件、「交通事故」が344件となっています。

1日あたりの救急出場件数は約17件となります。

第44回全国消防救助技術大会に出場しました

今年は、兵庫県神戸市にて全国900名あまりの消防救助隊員が参加し、出雲市消防本部からは中国地区予選を通過した4名の隊員が出場しました。

その中で、はしご登はんに出場した青木公介消防士、ほふく救出に出場した鐘推裕則消防副士長、森山喬消防士、栢根純一消防士が入賞を果たしました!

たくさんの皆様にご声援いただきありがとうございました!



正しくセルフ給油 できてますか?

セルフ給油所は近年市内にも増え、利用される方も多いと思います。しかし本来、資格を持つ従業員が給油する行為を、資格を持たない人が行う為いろいろな注意事項があります。給油の際は下記のことにご注意しましょう。

●安全の確認 監視員の指示には従いましょう。

セルフ給油所では顧客の誤操作が発生しないように常に監視員が監視室に常駐、監視を行っています。危険な行為が行われると監視員から指示があります。監視員の指示には従ってください。

●火気厳禁! 給油中は火気厳禁です。

●静電気除去! 静電気除去パッドを触って静電気除去を

ガソリンは揮発性が高く、ちょっとした火花でも簡単に引火します。給油する前に計量機についている静電気除去パッドを触って静電気除去を実施しましょう。

●ガソリン携行缶への給油はできません!

セルフ給油所では、車への給油はできても、自分でガソリン携行缶へのガソリンの給油はできません。従業員は携行缶への給油が可能ですが、できるかどうかは給油所によって異なります。従業員の方までお尋ねください。



お問い合わせ / 出雲市消防本部予防課 TEL:21-6922



救急リレートーク2



今回は、島根県立中央病院医療局次長の松原康博先生にコメントをお願いしたいと思います。

松原先生は長年にわたり、島根県の救急医療に多大な貢献をされている先生です。それでは松原先生、よろしくお願いいたします。



救命救急医療のカギは救急隊員が握る!

救急医療は病院に到着するまでの対応と病院での医療で成り立っています。どちらが欠けても良質な救急医療は提供できません。救急医療の中でも直ちに命に係わる心肺停止や心筋梗塞、脳卒中などの救命救急医療は、現場でいかに早く病状を把握し、無駄な時間を費やすことなく、適切な医療機関へ搬送するかがカギになります。

また、病院到着までの間、病状を悪化させない適切な処置や病院への的確な情報提供が患者さんの治療結果に直結します。我々もドクターヘリやドクターカーで現場に出動していますが、病院到着までのこれらの重要な役割の大部分を担うのが救急隊員です。心肺停止の場合は、現場の救急隊員に我々が電話で直接指示を出し、現場で救命処置を行います。救急医療チームの一員である出雲市消防本部の救急隊員は、救急医療を担う能力を向上させるため、患者さんの協力を得ながら病院実習も積極的に行っています。今後もより良質な救命救急医療を提供するため、救急隊と協働していきたいと思っています。

奥田儀FR 1周年

昨年発足し、1周年となる奥田儀FR(ファーストレスポnder)による再講習が6月21日に多伎町奥田儀で開催されました。

FRとは、初期対応者という意味で、事前にFR員に必要な訓練を受けた人による救命活動を示します。

消防本部指令課より連絡を受けたFR員は、地区に設置してあるAEDを持って、個人の意思で救命活動を行います。

FRのある地区では、年2回の講習が行われることになっており、あらためてFRとしての心得を学び、心肺蘇生法の訓練を行いました。



保育園合同救急法を実施

斐川消防署では管内の保育園に勤務する保育士の方を対象に救急法講習を開催しました。

昨年度から実施している講習に、今年は計4回、9つの保育園から約200名の方が参加されました。

講習では、心肺蘇生法、AEDの使用方法、異物除去法などの手技の他に、実際に保育園で起こり得る事故を想定したシナリオ訓練を実施しました。

子どもを預かるという重大な責任を感じ、熱心に取り組まれていました。



中学生が 職場体験学習を実施



出雲西消防署本署にて、平成27年7月31日、8月1日の日程で、多伎中学校の生徒さんを対象に宿泊体験学習を実施し、また、出雲消防署佐田分署では、佐田中学校の3年生を対象に平成27年9月14日、15日の2日間で職場体験学習を実施しました。

今回は、普通救命講習、規律訓練、ホース延長訓練等を実施し、「消防を知り、消防に対する知識を学び火災予防の普及啓発を図るとともに、学校生活とは違う団体生活での規律、責任感、郷土愛を養うこと」を目的とし、共に助け合いながら消防活動を体験されました。

水難救済会出雲救難所

海難事故想定訓練を実施しました(報告)

海難事故発生に備え、水難救済会出雲救難所では消防署との合同訓練を行いました。

水難救済会とは地元漁業関係者を中心に組織され、海難事故等が発生すれば直ちに出勤し遭難者の救助活動にあたる重要な組織です。

7月には小伊津漁港を会場に佐香支所との合同訓練が、9月には湖陵漁港を会場に湖陵支所との合同訓練が行われました。

8月には大社漁港を会場に大社、日御碕、鵜鷺の3支所合同での訓練が行われました。この大社漁港で行われた訓練には、海上保安庁美保航空基地のヘリコプターも参加し、本番さながらの訓練を行うことができました。

今後も海の安全を守るため、このような訓練を継続的に行う予定です。



化学車を更新配備



以前配備していた化学車が老朽化し、災害対応強化のために更新、出雲消防署本署に配備しました。

この化学車は1200リットルの水のほか、1000リットルの泡消火薬剤を積載しています。泡消火薬剤はクラスA(主に一般火災に使用する)泡消火薬剤と、クラスB(主に油火災に使用する)泡消火薬剤の2種類を積載しており、使用用途に合わせて災害対応が可能です。普通の水だけでは消火が困難であったプラスチック及びゴム火災、油火災の対応など、広く災害対応強化が図れました。

みなみ保育所 幼年消防クラブへ 和太鼓セットを配備

出雲市消防本部少年女性防火委員会(会長 森山靖夫消防長)は、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業により、和太鼓セットを購入し、平田保育会みなみ保育所幼年消防クラブに配備しました。

同クラブは、昭和61年に結成され、定期的に防火訓練を行い、幼年期からの防火意識の高揚を図っています。



代表(電話 21-2119)(FAX 21-8241)

お尋ねは

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 指 令 課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 佐 田 分 署 (電話 84-0915)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内 (電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>